

今週の日曜版は合併号
8月18日号は休みます。

猛暑の中で反核宣伝

「被爆80年へ、核廃絶の壮大な運動を展開しよう」と今年も広島・長崎で核兵器廃絶を目指す世界大会が開催されています。日田原水協も連携し、宣伝署名活動に取り組んでいます。

今年は被爆79年、来年は被爆80年で節目の年となります。被爆者の平均年齢は、今年3月で85.8歳となり、高齢化が進んでいます。被爆者の願う「生きている間に核兵器のない世界の実現」に込める運動が求められています。

原水爆禁止世界大会は8月3日の国際会議を皮切りに6日の広島デー、9日の長崎デーまで開催されます。広島集会には約4000人が参加し、オンラインでは約1300ヶ所で視聴されます。



2024年 原水爆禁止 世界大会に成功に向けて

日本は核兵器禁止条約に参加を!!

「憲法9条を守る日田の会」（橋本雅文代表）は、広島に原爆が投下された8月6日、「戦争反対、9条生かした平和外交を」と市内で宣伝しました。

6日の朝、原爆が投下された暑の日差しの中、市内中心部を時間に黙とうをしたその後、酷参加者で約1時間行進し、平和を訴えました。



橋本代表は挨拶で「ロシアとウクライナの戦争、イスラエルの戦争、パレスチナの全面戦争の心配もあるなか、国内の世論調査は専守防衛の厳守が61%、台湾有事は非軍事で56%」となっており「集団的自衛権は

支持されていない」と述べ「戦争ではなく命の支援を、戦争ではなく9条を世界へと運動していく」と訴えました。

「唯一の被爆国日本は核兵器禁止条約を批准せよ」、「日出生台出での日米合同軍事演習を中止せよ」、「米軍基地周辺では性被害が多発、戦争のための基地はいらない」、「防衛の問題は国民に明らかにせよ」などシユプレ

ヒコールをしながら市民に訴えました。



被爆79年 市民平和ウォーク